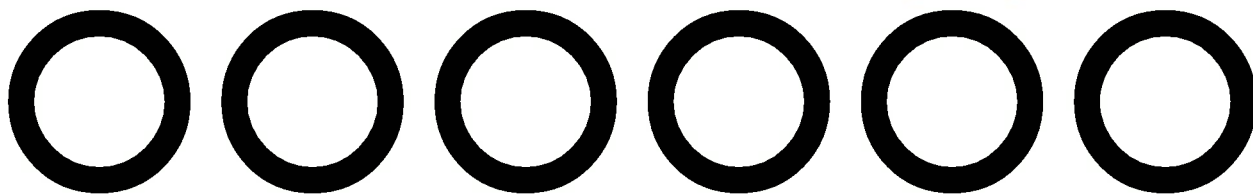


## 北区版



## 浜松市 区版避難行動計画

## 【この冊子でやって欲しい3つのこと】

**1 避難場所を決める**

①「1. 災害から身を守る」を読む

P1~P14

②家族で避難場所を考え、折込の「防災マップ」の地図やメモ欄に記入する

避難経路の決め方はP23へ

**2 防災マップを目の付きやすい所に貼る**

「防災マップ」に避難所などを書き込んだら、毎日目にする災害時も安全な所に貼ってこう

**3 My 防災カードをつくる**

「防災カード」に、自分の名前、緊急連絡先、避難所などを記入し、かばんや財布などに入れて常に携帯する（家族みんながそれぞれ携帯しよう！）

折込の「防災カード」へ





# 災害時の避難行動

## 地震

東海地震が発生した場合、北区では最大震度7の揺れが予想されています。  
地震による被害想定はP7～P8へ

### 地震発生後の避難方法

緊急地震速報を聞いたら

このように行動してください

**地震発生!**

※地震発生後、絶対に避難所に行く必要はありません。  
自宅付近の安全が確認できれば自宅に待機しましょう。

※この避難の流れは、  
本策定会議を通じて  
まとめていきます

まず自分の身を守る

YES・NOであなたのとるべき行動を確認してください

チェック1  
今いる場所は  
崖崩れや津波による浸水の恐れがある

YES

近くの安全な場所へすぐ避難

NO

安全を確認後、自宅へ

※避難地へ必ずしも向かう必要  
は無く、近くの安全な広場や空  
地を普段から確認しておこう

チェック2  
自宅が壊れて住めない状態である  
余震などで自宅が倒壊しそうである

YES

避難地へ避難

NO

チェック3  
自宅に火災が迫っている

YES

避難地に開設される避難所で生活

NO

自宅に待機

避難地が分からない人・・・P13へ

### 東海地震の情報を聞いたら

このように行動してください

東海地震に関連する調査情報



東海地震注意情報



東海地震予知情報



# 東海地震の発生後はこう行動しよう

地震発生 1~2分 3分



時間経過ごとの行動

## こんな時どうする

### 1. 屋内にいる

家の中  
簡単な説明文



集合住宅やアパート

エレベーターの中

デパート・スーパー

ビル・オフィス

地下街

### 2. 屋外にいる

路上

電車やバスなどの車内

車の運転中

住宅街

山ぎわや崖地の近く



# 津波

## 津波からの避難方法

※この避難の流れは、本策定会  
議を通じてまとめていきます

状 況	このように行動してください
大きな揺れや長い時間の揺れを感じたら	<ol style="list-style-type: none"><li>①まずは地震の揺れから身を守る</li><li>②揺れがおさまったらただちに高い場所に避難</li><li>③津波警報が解除されるまでは、避難場所から移動しない</li></ol>
大きな揺れを感じなくても、津波警報が発令されたら	<ol style="list-style-type: none"><li>①警報発令後、ただちに高い場所に避難</li><li>②津波警報が解除されるまでは、避難場所から移動しない</li></ol>
大きな揺れを感じなくても、津波注意報が発令されたら	<ol style="list-style-type: none"><li>①注意報発令後、ただちに海の中や海岸から離れる</li><li>②注意報が解除されるまでは、海岸には近づかない</li></ol>
東海地震の警戒宣言が出されたら	警戒宣言発令後、ただちに高い場所に避難

### 津波警報とは

大津波警報 3m以上の津波 ただちに高い場所に避難 (サイレン吹鳴パターン)

津波警報 1~3mの津波 ただちに高い場所に避難 (サイレン吹鳴パターン)

津波注意報 0.2~1mの津波 ただちに海岸から離れる (サイレン吹鳴パターン)

## 津波からの避難 6つのポイント

### 1. 強い揺れや長い時間の揺れを感じ、揺れがおさまったすぐ避難

地震発生後、津波はすぐに海岸に到達します  
津波警報をまたずにただちに避難します

### 2. 「津波だ」「逃げろ」と呼びかけしながら率先して避難

あなたが呼びかけながら避難することで、周りの人たちが避難するきっかけとなります

### 3. より高いところに避難

津波はどの高さまで到達するかわかりません  
また、わずかな水深でも流される危険性があります  
より高いところへ、可能な限り避難します

### 4. 津波警報中は避難場所から帰らない

津波は繰り返し襲ってきます  
津波警報中に自宅に忘れ物などを取りに戻り、被災した人がいます

### 5. 携帯ラジオなどで情報収集

携帯ラジオを身につけていれば、停電時も情報を入手できます  
防災ホッとメールに登録しておき、メールを受信しましょう

### 6. あらかじめ家族や地域でどのように避難するか考えておく

地震はいつ発生するかわかりません  
いざというとき家族みんなが避難できるよう、あらかじめ避難場所を考えておきます  
どこを通過してどこに逃げるのか、地図を見ながら、また実際歩きながら考えます

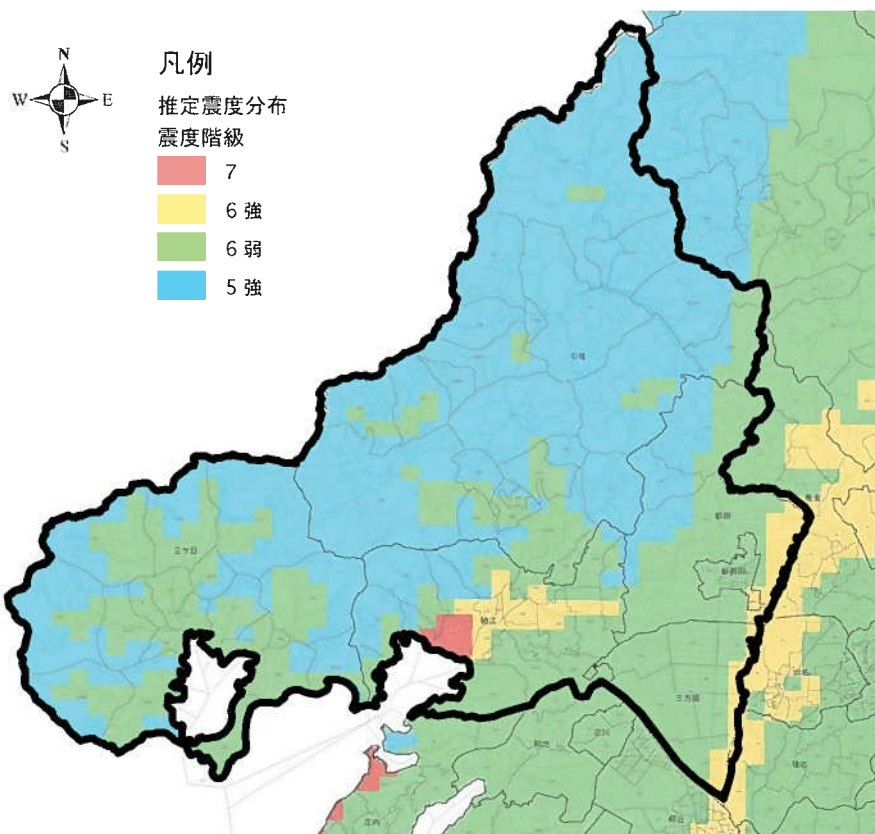
折込の防災マップへ

## 地震の揺れ（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

右図は、推定される東海地震が発生した場合に、各地域で予想される震度を気象庁震度階級に合わせて推定したものです。

北区は概ね震度5から震度7の揺れが発生するが想定されています。

□□□□□

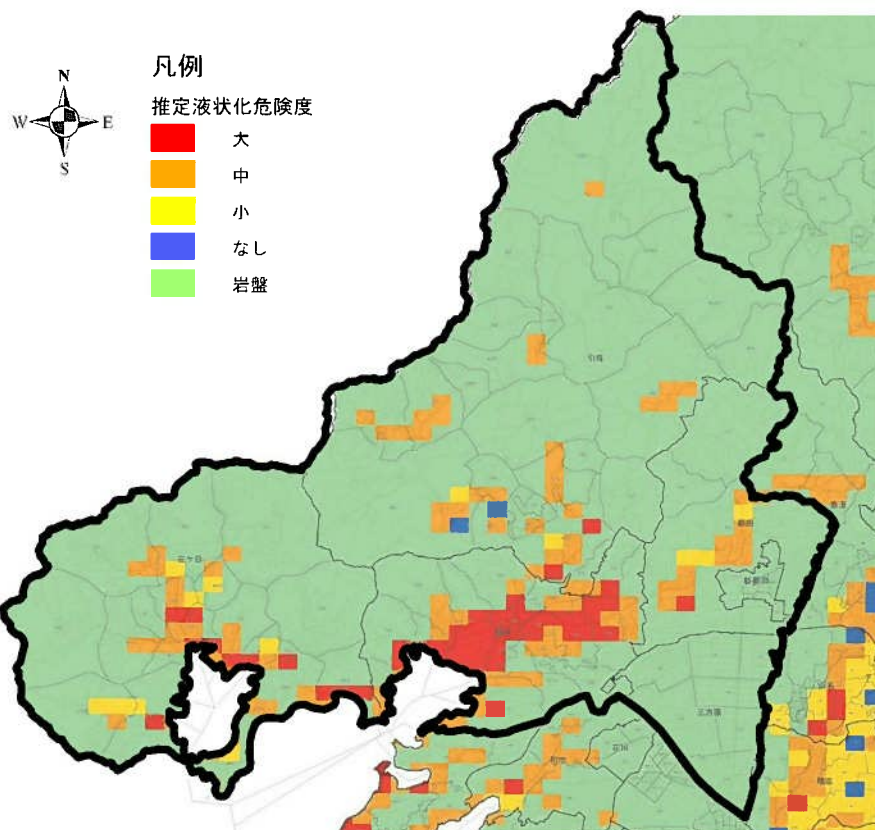


## 液状化危険度（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

右図は、推定される東海地震が発生した場合に、各地域で予想される地盤の液状化危険度を4階級に区分したものです。

北区では、都田川周辺や三ヶ日地区の猪鼻湖周辺において、危険度が高いと想定されています。

□□□□□







# 風水害

激しい雨の時、台風の際は水害に警戒を！  
浜名湖周辺では高潮の発生にも注意！

自分が住んでいる場所に危険が迫ったら、避難情報を待たずに避難しよう！

降雨の状況や河川の水位上昇の状況から、自分が住んでいる場所の危険を判断しましょう。

## 避難時の注意点

### 時間がある場合

近所の人と一緒に避難所へ

### 時間がない場合 避難所が遠い場合

冠水が始まっている状況や雨の激しい時、  
強風時は外に出るのは危険！

天竜川の氾濫の場合 ⇒ 近くの頑丈な高い建物の2階以上に避難  
中小河川の氾濫の場合 ⇒ 自宅の2階以上に避難

土砂災害にも注意！

高潮にも注意！

避難する前に連絡を！



動きやすい服装で避難



車は控えて歩いて避難



浸水箇所を歩行する時は

たとえ10cmの浸水でも足元が見えず危険！

浅くても注意

足元に注意

地下道に注意！

自宅が崖地に近い人は・・・P11

## 危険な場所には近づかないで！

増水した河川は大変危険！  
危険な場所に近づかず、自宅で賢く水位情報を入手しよう

### 静岡県土木総合防災情報「サイポスレーダー」

#### 北区で水位が分かる場所を紹介

都田川(須部、落合橋、瀬戸橋、伊目、瀬戸、  
都田川ダム、川合淵)

井伊谷川(坂田橋)

釣橋川(鶴代、釣橋川)

#### 河川の水位情報

河川名	観測所	水位 (m)		
		氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
都田川	落合橋	2.70	2.90	3.50
伊井谷川	坂田橋	1.90	3.10	3.60
釣橋川	釣橋川	2.20	—	—



現在の河川の様子

雨量の情報  
(時間雨量、累積雨量など)

# 雨の降り方と雨量（1時間）の目安

停電時は携帯ラジオなどで情報収集を  
川や崖地の近くの方は、大雨となる前が避難のタイミング

およその1時間雨量	雨の降り方のイメージ	
5～10ミリ	イラスト	雨がトタンを打つ音が聞こえ、あちこちに水たまりができる
10～20ミリ	イラスト	雨音で話がよく聞き取れない。一面に水たまりができる
20～30ミリ	イラスト	土砂降りですぐ側溝があふれ、小さな川の氾濫が始まる
30ミリ以上	イラスト	バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れやがけ崩れがおきやすい

## 避難情報が入手できる場合

避難情報はあくまで参考情報として  
危険を感じたら自分の判断で避難を！

都田川や中小河川の近くにお住まいの方  
低い土地に住んでいる方は特に気をつけて情報を聞いてください。

情報	状況	このように行動してください	
		要援護者など、避難に時間が必要な人	それ以外の人
<b>事前情報</b>	浜松市北部に大雨警報、洪水警報が発表された	家族との連絡、非常用持ち出し品の準備を始める	情報に引き続き注意
<b>避難準備情報</b>			
<b>避難勧告</b>			
<b>避難指示</b>			

危険

冠水が始まってから避難や外出すると危険です。  
小河川のはん濫時は安全を確認した上で自宅の2階に待機します。

## 避難情報とは

避難情報	意味
避難準備情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川はん濫の情報への注意喚起を促し、避難のための準備を呼びかける情報</li> <li>避難に時間のかかる要援護者などは避難を呼びかける情報</li> </ul>
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川がはん濫する危険のある水位に達する恐れがあることを知らせ、避難を促す情報</li> </ul>
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川のはん濫が目前に迫った時や堤防が決壊した時に出され、すみやかな避難を呼びかける情報</li> </ul>

# 土砂災害

地震の後、激しい雨や長雨の時など土砂災害に警戒を！  
自宅が土砂災害危険箇所なのか「防災マップ」で確かめておきましょう！

自分が住んでいる場所が土砂災害の危険性がある人は危ないと感じたら  
避難情報を待たずに避難しよう！

- 土砂災害危険箇所の近くに自分の住んでいるところがある
- 自宅が山や崖地に近い

土砂災害危険箇所は  
「防災マップ」で確認

- 降雨の状況に注意！
  - ・雨が1時間に20mm以上になった
  - ・降り始めてから100mm以上になった

- 裏山や崖地の状態に注意！  
普段と違う現象は起きてないか… ページ下の前兆現象を確認

危険を感じたら、  
安全と思われる場所に避難！

## 土砂災害発生前の避難方法

### 時間がある場合

避難所へ近所の人と  
一緒に避難

### 時間がない場合

(避難所が遠い、夜間や風雨で  
避難所に向かうのは危険など)

避難所でなくても近くの安全な家など、  
身の安全が守れる場所へ

### 緊急事態

家の中で斜面に一番遠い  
2階の部屋へ移動  
(最低限の危険回避を)

避難する前には連絡を！ ➡ 安全な服装で避難

雨が止んでも注意が必要

## 日頃から近くの崖地に注意を払って！

近くに崖地がある地域では、日頃から崖地の様子に注意し、前兆現象や異常現象にいち早く気づき、  
自主避難することが重要です

### 崖崩れの前兆現象

【特に注意すべき地区】

引佐、細江、三ヶ日、都田  
三方原地区は浜北区境に注意

### 地すべりの前兆現象

【特に注意すべき地区】

引佐

### 土石流の前兆現象

【特に注意すべき地区】

引佐、細江、三ヶ日、都田

## 避難情報を入手した場合

避難情報はあくまで参考情報として  
危険を感じたら自分の判断で避難を！

情報など	状況	このように行動してください
<b>情報収集</b>	・大雨注意報が発令(静岡地方気象台)	・テレビ、ラジオ等により気象情報に注意する
	・大雨警報が発令(静岡地方気象台)	・崖地近くに住む人は、崖地周辺の異常な現象に注意する
<b>避難準備情報</b>	・土砂災害警戒情報が発表(静岡地方気象台、静岡県)	<b>避難準備・自主避難</b> ・引き続き情報に注意する ・崖崩れや河川の氾濫などに気がついた場合には区役所や消防署に通報する ・避難準備をする ・避難に時間を要する人は避難所へ避難を開始する
<b>避難勧告</b>	・	・
<b>避難指示</b>	・	・

危険

## 崖崩れや河川の氾濫などを発見したら

連絡先



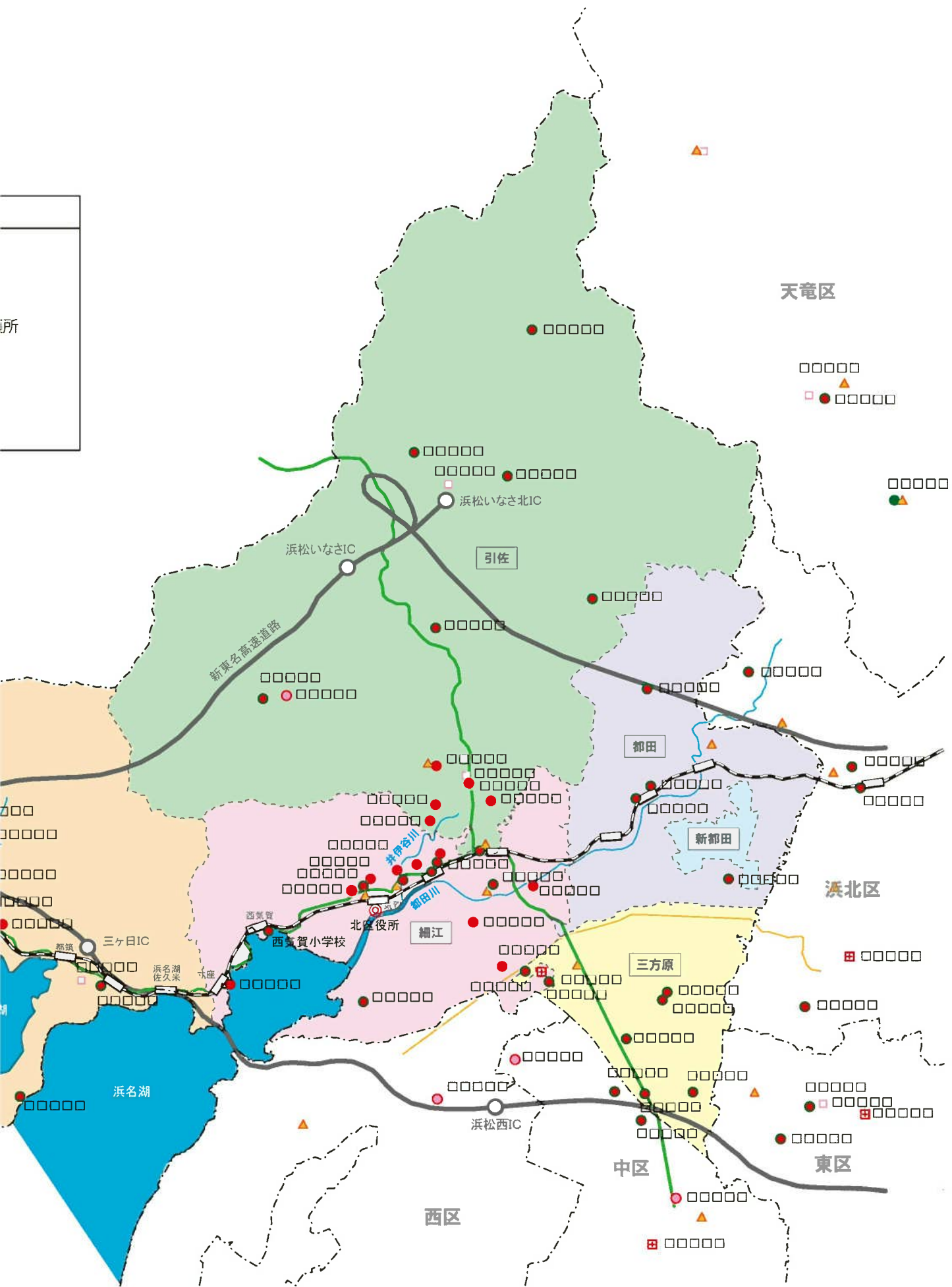
# 北区 防災施設マップ

凡 例	
●	避難地
●	避難所
●	避難地・避難所
●	避難地・避難所・応急救護
●	避難所・応急救護所
□	応急救護所
田	救護病院
▲	ヘリポート

【用語の説明】  
 避難地とは  
 避難所とは  
 応急救護所とは



所







### ●家族や仲間の安否を知る



#### 「災害用伝言ダイヤル」

災害時（震度6弱以上の地震など）にはNTTの災害用伝言ダイヤル「171」が稼働します。

家族や知人の安否を確認するときなどに活用しましょう。

#### ●伝言の録音方法

171→1 → 被災地の人の自宅の電話番号（市外局番から） → 伝言を吹き込む

#### ●伝言の再生方法

171→2 → 被災地の人の自宅の電話番号（市外局番から） → 伝言を聞く

※自分が被災地の人である場合は自宅の電話番号を、被災地以外の人の場合は被災地の人の自宅の電話番号を入れてください。

※音声案内が流れますので、案内に従い落ち着いて利用しましょう。

※毎月1日（1月1日は除く。）は全国で「災害用伝言ダイヤル」の利用体験ができます。



#### 携帯電話の「災害用伝言板」

災害時（震度6弱以上の地震など）に携帯電話サービス会社は「災害用伝言板」を開設します。

被災地の人の安否情報を伝言板に登録でき、登録された伝言は、同じ会社の携帯電話はもちろん、他社の携帯電話やPHS、パソコンからでも見ることができます。

※サービスの詳細は各携帯電話会社にお問い合わせください。



#### 公衆電話

グリーン・グレーの公衆電話は、災害時優先電話として、一般の電話よりもつながりやすくなります。



#### 遠隔地に連絡中継点をつくる

災害時であっても、被災地から被災地以外の場所への電話は比較的つながりやすいと考えられます。そこで、遠隔地の親せきや友人などに依頼して、連絡中継点になってもらう方法も有効です。

























手作り防災カード（裏面）

手作り防災カード（裏面）

手作り防災カード

手作り防災カード

**（折込）防災カード**

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

**（折込）防災カード**

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）



**防災マップ**

**(折込)**

家の目立つ所に貼ってもらう

**□非常用持ち出し品、家庭内備蓄品を準備した**

非常持ち出し品はあまり多くの荷物をつめすぎると重たくて避難の支障になるので注意を！

非常持ち出し品

常備薬・救急セット

非常用食料

応急生活用品

非常備蓄品・災害復旧までの数日間分準備するもの

非常用食品・飲料

カセットコンロ

その他生活用品

高齢者や体の不自由な方がいる家庭

赤ちゃんがいる家庭

介護・看護用品・おむつ

粉ミルク・哺乳瓶・おむつ

こんなものがあると便利

---

発行元